

施策評価調書(25年度実績)

施策コード I-9-(2)

政策体系	施策名	感染症・伝染病対策の確立	所管部局名	福祉保健部、農林水産部、生活環境部	長期総合計画頁	73
	政策名	危機管理の強化	関係部局名	福祉保健部、農林水産部、生活環境部		

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③
取組項目	感染症対策(健康危機管理)の推進	家畜伝染病対策の強化	生活環境対策

【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する取組No.	基準値		25年度			26年度	27年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i 抗インフルエンザウイルス薬の備蓄率(%)	①	H21	45	45.0	45.0	100.0%	45.0	45.0						

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等			平均評価
i 達成	国は「新型インフルエンザ対策行動計画(平成21年2月改定)」において抗インフルエンザウイルス薬の備蓄目標を国民の45%としており、これに基づき、県民の45%以上となる約55万人分の抗インフルエンザウイルス薬を県内に確保できている。			達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・25年4月に施行された新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、大分県版の新型インフルエンザ行動計画を同年10月に策定した。
②	・家畜伝染病防疫対策チーム(B-SAT)を中心に防疫演習や作業手順の検討を定期的に行い、万一の発生に備えた。
③	・と畜場では口蹄疫を念頭に生体検査を行い、早期発見に努めた。 ・食鳥処理場での鳥インフルエンザの発生を防止するために搬入前の鳥の健康状態の確認の徹底を図った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(25年度事業)	事業コスト(千円)	26年度の実施状況	主要な施策の成果掲載頁
①	健康危機管理対策推進事業	3,133	継続	83
②	家畜伝染病緊急防疫体制整備事業	—	継続	156
	獣医師確保対策事業	12,565	継続	157
	県産粗飼料流通拡大対策事業	13,782	継続	158

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県HIV診療協力医療機関連絡会議(H26.3.4)</p> <p>・医療機関での針刺し後のHIV感染防止対応について、県から関係医療機関には予防薬の配備をしてもらっている。院内感染対策がさらに充実されるように、県からの通知等もお願いしたい。</p>	
--	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・期限切れとなる抗インフルエンザウイルス薬の更新を行う。 ・結核やエイズ等を含めた幅広い感染症対策を推進する。 ・策定した県行動計画に基づき、新型インフルエンザ等対策に必要な体制の整備を図るとともに、各市町村版の行動計画の策定を推進する。 ・引き続き家畜伝染病に対する防疫体制を強化し、万一の発生に備えるとともに、演習や検討を行い万全の準備を行う。 ・と畜場が閉鎖となる事態を避けるため、感染動物を早期に発見するための検査体制の整備を行っていく。